

北海道の印刷

PRINTING INDUSTRY IN HOKKAIDO

第722号

[Website] <http://www.print.or.jp>

[E-mail] info@print.or.jp

7

2016

平成28年
7月10日発行

INDEX

印刷燦燦	3
全印工連平成28年度通常総会開催	4
「全印工連2025計画」策定	5
北海道印刷関連業協議会総会開催	6
「需要創造力向上/道場」案内	7
DTP技能検定案内	8
第29回北海道印刷関連業協議会ゴルフ大会案内	8
業界のうごき	8
労働・経営無料相談案内	9

《表紙》カムイワッカの滝 [知床国立公園] 斜里郡斜里町 (7月)

北海道印刷工業組合

〒064-0808 札幌市中央区南8条西6丁目1036番地
TEL.011-562-6070/FAX.011-562-6072



古紙100%再生紙



この印刷物は、CSRに
取り組む印刷会社が製作
した印刷物です。

P-00023

印刷 燦 燦

「サービスおもてなし」について

日頃、仕事をしているとサービスについて考えさせられることがある。印刷業界だけではないと思うが、「サービスしろよ」と言われれば、値段を下げるのがサービスと思われている節がある。

最近、野地秩嘉さんの「サービスの達人究極のおもてなし」という本を読んだ。

東京でしゃぶしゃぶを広めた高級和食の「ざくろ」の創業者桂さんが従業員につねづね言っていたのは料理よりサービスについてだそうだ。「料理は値段に見合ったものしかできない。しかし、サービスは青天井で、いくらでもよくすることができる」と。あとがきに「サービスは、結局はまごころだ。マニュアルを完璧に覚えた人のサービスに不満が残ってしまうのは、心をこめることはマニュアルでは指導できないからだ。本人が心からそう思わなければできないことがサービスなのである」と書いてある。

この本の解説をされているマネックス証券の松本さんは、まだ新人だったころ、「『松本、うちは何を売っているかわかるか?』と先輩に聞かれた。その当たり前の質問に『株や債券などの証券でしょうか?』と答えると、『バカヤロ!俺たちは情報を売っているんだ』と言われた。まさにその通りで、例えばソニーの株を買おうと思えば、日本中どこかの証券会社で買ってもそれは全く同一のソニーの株であり、そして値段も全く同じである。どこで買っても同じ物でしかも同じ値段の物が、果たして売り物になるだろうか?そんな物を売っているだけでビジネスになる訳がない。我々証券会社は証券を売っているのではなく、情報やアドバイス、或いは売買する体験を売っているのだ。それらのサービスの対価として、手数料をいただいている。証券会社は完全なサービス業だと私は思っている。だからサービスのプロたちの話は、自分自身の仕事にそのまま返ってくる。だから面白い」と言っている。

このサービスとは、おもてなしやまごころである。前東京都知事を観ていると、まごころが感じられない。あのような人が東京オリンピックでこころのこもったおもてなしをできると思えないのだが。

現在の印刷産業も、技術的にはどこで印刷しても同じものができる。設備の違いで、生産効率が違うだけだ。どこでも同じものができる以上、他社との違いを出すには、何をすればいいか?お客様に、まごころのこもったサービスをお届けしたいと心底思う。

北海道印刷工組合 理事、教育・研修事業副委員長 西山 真

大輝印刷株式会社 代表取締役

全印工連会長に臼田真人氏が就任

全印工連平成28年度通常総会開催

全日本印刷工業組合連合会は、平成28年度通常総会を5月24日午後2時から東京都港区のアジュール竹芝で開催し、任期満了による役員改選を行い、2期4年間務めた島村博之会長が退任し、新しい会長に臼田真人氏（株式会社アドピア代表取締役・東京都）が就任した。



臼田 真人
全印工連会長

臼田新会長は、就任あいさつで「全印工連という印刷業界を代表する長い歴史と力のある組織の会長に任命いただき、身の引き締まる思いでいる。全力でこの重責を果たして行きたい。全印工連機能とは、『連帯』『共済』『対外窓口』に他ならない。『連帯』とは、島村前会長が良く話されていた『中小企業は1社では戦えない。だから正しく群れなくてはならない』ということであり、まさに普遍の目的だ。『正しく群れる』ことを実行し、組合員同士が個々を尊重しながら互いに研鑽し、時に励まし合える魅力ある組織にしていきたいと考えている。

一方で、シニア・現役・次世代の3世代が交流を図ることができるプラットフォームとしての機能も全印工連に盛り込んでいきたい。

『共済』については、社員を育み、資財を守る大切な仕組みであることを改めて示しながら、今後力強く共済事業を進めていきたい。

『対外窓口』では、全印政連や中小印刷産業振興議員連盟を通して、議員の先生方から官公需取引について力強い支援をいただき成果が出ている。こうした新しいうごきがそれぞれの地域において大きな力となり、要望や政策提言の一助に繋がっていくと思っている。全国の皆様の意見を拝聴しながら、5,000社の力をしっかり合わせて、事業の推進を図っていきたい。

私は今期のテーマを『志あふれる印刷産業へ、期待される価値を求めて』とした。厳しい経営環境のなか、なぜ全印工連には5,000社という多くの組合員企業が存在しているのか。それは1社1社がすべてを振り絞った努力により雇用を守り、独自のノウハウで地域に貢献しているからに他ならない。その命がけの努力こそが『志』だと言える。私たちの高い志を全印工連という場に結集させ、強い行動力で実行することで、社員が奮い立ち、地域が活性化し、国をも動かす力となっていくと私は信じている。印刷産業の新た

な成長、そして全印工連の発展のために、全国の皆様のお力添えを切にお願いしたい。

今や印刷産業は、製造業の範囲を超えて、人々の『伝えたい気持ち』や『思い』を最適な形に変えるコミュニケーション産業に大きく変貌を遂げている。人々を繋ぐ産業として社会から必要とされ、社会に大きく貢献できる、自信を持って経営に邁進できる産業である。組合員の皆様には印刷会社の誇りと勇気を今まで以上に持って、経営に臨んでいただきたい。全印工連はその取り組みに対する各種の支援事業を積極的に行っていく。

新年度の事業計画では、産業戦略デザイン室は広報戦略の強化、経営革新マーケティング委員会では事業承継に取り組む、教育研修委員会はリニューアルしたDTP技能検定の実施、CSR推進委員会は最上位認定となるスリースター認定の構築を行う。

女性活躍推進室は内容を飛躍させ、新たにダイバーシティ推進委員会として多様性を受け入れ、広く人材を活用できる事業を進めていく。

さらに、全印工連挙げて『2025計画』の実現に向けた各種の取り組みを始める。

すべての組合員企業の皆様の英知を結集しながら、これからの2年間、私の持てる力のすべてを出し切り、高い志と強い覚悟を胸に、より良い印刷産業、そして強く、しなやかな全印工連の成長と発展に向けて、取り組んでいく決意をここにお伝えする」と述べた。

「全印工連2025計画」を策定

印刷産業新成長戦略『全印工連2025計画 新しい印刷産業へのリ・デザイン』発刊

全日本印刷工業組合連合会は、「全印工連2025計画」を策定し、印刷産業新成長戦略『全印工連2025計画 新しい印刷産業へのリ・デザイン』（A4判、192頁）として発刊した。

今後10年間の社会・経済環境の変化を想定し、印刷産業の事業領域の再定義を自ら試みたものである。

社会から必要とされ貢献できる内容について詳細に解説し、目標と行動計画を5つの分野で提示している。

「全印工連2025計画」は、日本社会のパラダイムシフトを背景に策定されている。

人口減少による需要の縮小、ITとデジタルデバイスの爆発的な普及による情報量の変化等に直面し、印刷産業は生産効率の追求を最優先してきた従来型ビジネスモデルの変革を迫られている。

製造業だけの発想から脱し、新たな競争力を獲得することが至上命題となっている。

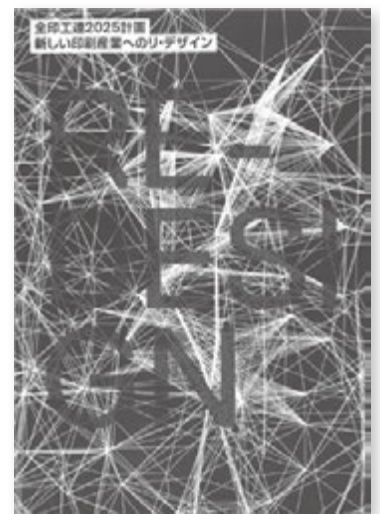
そのためには、社会の価値の重心がどこに移ろうとしているのかを見極め、ソリューション・プロバイダーとして社会から必要とされ続ける立ち位置を確保する必要がある。

2025計画は、環境コラボレーション／地方創生産業クラスター／女性活躍推進／ダイバーシティ／CSR人づくり、の5分野で構成されている。

これまでの全印工連ビジョンは、各組合員企業に向

けた変革へのロードマップ提示や指南が中心であったが、印刷産業としての社会課題に取り組む姿勢、進むべき方向性を明示したのが特徴となっている。

2025計画をもって地域社会、行政、政治に強くアピールし、印刷産業への理解を深め、新たな価値創出に繋げていくことを目的としている。



「全印工連2025計画 新しい印刷産業へのリ・デザイン」の目次

第1章 全印工連2025計画 新しい印刷産業へのリ・デザイン
第2章 環境コラボレーション2025計画
第3章 地方創生産業クラスター2025計画
第4章 女性活躍推進2025計画
第5章 ダイバーシティ2025計画

第6章 CSR人づくり2025計画
第7章 2025年印刷・同関連業のマクロ指標および数値予測
第8章 INSATSUと人類の歴史
終章 22世紀の印刷人へ

北海道スクリーン・デジタル印刷協同組合が新規加入

北海道印刷関連業協議会総会開催

北海道印刷関連業協議会は、平成28年度総会を6月17日午後5時から札幌市中央区の札幌パークホテルで役員16人が出席して開催した。

総 会は、平成27年度事業報告・決算を承認し、平成28年度事業計画・予算を決定し、任期満了による役員改選を行い、会長に板倉 清氏（北海道印刷工業組合理事長）を再選した。

また、北海道スクリーン・デジタル印刷協同組合（七條雅文理事長）の加入を承認した。改選された役員は次のとおり。

- 会 長 板 倉 清（北海道印刷工業組合理事長）
- 副会長 守 田 敏 治（北海道紙器段ボール箱工業組合理事長）
- 副会長 岳 隆 久（北海道製本工業組合理事長）
- 副会長 杉 渕 好 美（北海道グラフィックコミュニケーションズ工業組合理事長）
- 理 事 笹 島 久 義（北海道洋紙代理店会会長）
- 理 事 森 田 伸 介（北海道洋紙同業会会長）
- 理 事 藤 田 一 浩（北海道印刷インキ同業会代表幹事）
- 理 事 渡 辺 辰 美（一般社団法人日本グラフィックサービス工業会北海道支部長）
- 理 事 渡 辺 淳 也（北海道フォーム印刷工業会会長）
- 理 事 有 原 常 貴（北海道シール印刷協同組合理事長）
- 理 事 七 條 雅 文（北海道スクリーン・デジタル印刷協同組合理事長）
- 理 事 竹 中 知 久（富士フィルムグローバルグラフィックシステムズ株式会社北海道支店長）
- 理 事 小 倉 学（株式会社メディアテクノロジージャパン北海道営業所長）
- 理 事 園 部 直 之（コニカミノルタジャパン株式会社PPG営業統括部北海道営業グループリーダー）
- 理 事 山 賀 義 徳（富士フィルムビジネスサプライ株式会社札幌営業所長）
- 監 事 岸 昌 洋（北海道印刷工業組合副理事長）
- 監 事 大 和 繁 樹（北海道印刷工業組合副理事長）

「需要創造力向上!道場」のご案内

～厳しい市場環境でも需要をどんどん創造できる力を強化しよう!～

北海道印刷工業組合は、本年度、組合員各社の業績拡大のための「需要創造力向上!道場」を開催する。

「**需**要創造力向上!道場」は、本気で売上・利益を伸ばしたい印刷会社向けの研修プログラムである。

同道場は、全国から東京に受講者が集まり「プラス1億円!道場」として開催されているものを、北海道の実情に合わせ、特別にプログラム構築したものである。

北海道から東京での講習会に参加するとなると、受講料金の他に参加するために東京へ赴く6回分の交通費と移動時間が必要になる。

そこで、この交通費と移動時間の負担を軽減するため、講師に理解と協力をいただき、北海道特別バージョンで下記により開催する。

「需要創造力向上!道場」開催要項

【道場の目的】

- 1.売上・利益の大幅アップを本気で目指し、実現する。
- 2.行動や意識を変える。
- 3.市場の変化に強くなる。

【道場の特徴】

1.本気で売上・利益の増大実現を目指す研修プログラム
☞「社会的な課題」を解決するサービスの企画・実現を実際に行う。

例) 少子化、高齢化、地域活性化、バリアフリー化など

2.「1期7ヵ月」の継続型、「講義+ワークショップ+宿題」の参加型研修

3.受講対象：経営者・経営幹部・新規サービス担当者等

4.募集人数：10～15人程度に限定

【講師】

ライター・レイター 山下潤一郎 氏

【実施期間】

平成28年8月～平成29年3月までの毎月1回（平日の午後開催）、計7回。（12月は休講とします）

1回の受講時間は2時間。

※具体的日時は、受講者に別途、知らせる。

【実施会場】

札幌市内

【受講料】

1人150,000円（消費税含）

【主な内容（テーマ）】

第0回：講師と受講者および受講者同士の親睦を深める!

第1回：自社の強み・特徴を再認識しよう!

第2回：既存サービスをバージョンアップしよう!

第3回：新規サービスを企画しよう!

第4回：既存顧客を深掘りしよう!

第5回：新規顧客を獲得しよう!

第6回：受講者による発表会「これまでの成果・今後の計画」

【受講申込期日】

平成28年7月29日(金)

講師紹介 山下潤一郎 氏

1968年生まれ。静岡県出身。国際基督教大学卒。米国系戦略系経営コンサルティング会社、欧州系通信機器メーカー・国内インターネットサービス企業の市場調査部門、米国系デジタル印刷市場調査会社など経て、長期利益を実現する新規印刷サービスの立ち上げや印刷会社の戦略立案・実践を専門とするコンサルティング会社、ライター・レイターを設立。コンサルティングサービスの提供に加え、「ライター・レイター・ニュース」の発行、印刷市場の調査・分析なども行っている。

ライター・レイター代表



DTP技能検定のご案内

厚生労働省の技能検定製版職種「DTP作業」は、試験内容と実際の業務との乖離が大きかったため、平成26年度と同27年度の2年間、開催を休止していたが、このたび、全日本印刷工業組合連合会が中心となり、試験内容の検討・見直しを行い、新たな検定試験に刷新が行われた。

➡ の新たな検定内容で、今年度（平成28年度）後期に、製版職種「DTP作業」の技能検定が実施される。
↳ DTP作業従事者のみなさんへの教育の一環として活用できる制度となっている。

平成28年度後期に実施される製版職種「DTP作業」の主な内容は次のとおり。

なお、受検の詳細は、9月上旬に北海道職業能力開発協会から発表される予定になっている。

平成28年度後期技能検定 製版職種「DTP作業」

受検申請受付	平成28年10月3日(月)～14日(金)	受 検 区 分	1級および2級
実技試験日程	平成28年12月～平成29年1月の指定する日	学科試験日程	平成29年2月5日(日)
実技試験内容	DTPアプリケーションを使用し、提示された指定書により、支給された課題データを組版・編集し、カラープリンターにより出力する。		

【技能検定】

技能検定は、「働く人々の有する技能を一定の基準により検定し、国として証明する国家検定制度」で、職業能力開発促進法に基づき実施されている。技能検定合格者は「技能士」の称号が与えられ、1級は厚生労働大臣から、2級は北海道知事から合格証と技能士章が交付される。

第29回北海道印刷関連業協議会ゴルフ大会のご案内

第29回北海道印刷関連業協議会ゴルフ大会が開催される。

➡ のゴルフ大会は、印刷関連業界のさらなる協調・連帯・親睦の輪を広げるため開催されており、今年で29
↳ 回目となる。開催要領は次のとおり。

日 時	平成28年7月28日(金) 12:36スタート	コ ー ス	滝のカントリークラブ東・西コース
会 費	5,000円	プレイ費	8,500円（ロッカーフィ含）
申込先	各所属団体または北海道印刷関連業協議会（TEL011-562-6070）		

業 界 の う ご き

▶ ㈱光文堂のFAX番号が変更

株式会社光文堂（西出勝利社長／赤平市錦町2丁目4番地）は、このたびFAX番号を変更した。
新FAX番号：0125-74-6588



社会保険労務士・労働や経営の
中小企業診断士が

無料相談 承ります

専門家の派遣も
いたします

利用時間帯 **午前9時～午後5時**
(土・日・祝日を除く)

※詳細については本会HPIにて必ずご確認ください。

相談申込み 相談希望の方は中央会の本・支部事務所又は
下記の専用電話へ事前にご連絡ください。

電話相談 電話相談も受け付けます。

0120-67-3110 (相談専用電話)

北海道最低賃金総合相談支援センター

最低賃金の引き上げは中小企業の皆さんにとって様々な困難が伴うことから、北海道中小企業団体中央会では、北海道労働局の委託事業により「北海道最低賃金総合相談支援センター」を開設しています。

このセンターは、生産性の向上や利益率の改善などの経営改善に関する相談と賃金制度や労働時間制等の労働条件管理などに関する相談にワンストップで対応する相談窓口(無料)で、センター(札幌市)から離れている地域の中小企業の皆さんには函館市・旭川市・帯広市・北見市・室蘭市・釧路市において毎月1回開設する出張相談室をご利用いただけます。

また、社会保険労務士や中小企業診断士を全道の中小企業の皆さんのもとへ派遣する専門家派遣も実施していますので経営・労働面でお悩みを抱えている方は、是非お気軽にご相談ください。

コーディネーター

coordinator

北海道中小企業団体中央会 札幌本部内

月曜日～金曜日 午前9時～午後5時まで



特定社会保険労務士
岡部 典子



特定社会保険労務士
島本 幾子



社会保険労務士
中小企業診断士
千葉 俊幸



特定社会保険労務士
辻村 祐一



特定社会保険労務士
星川 聡子



特定社会保険労務士
森 隆幸

出張相談室

各会場月1回 午前9時～午後5時まで (開設日・会場はお問い合わせください)

函館
会場



特定社会保険労務士
吉田 則幸

旭川
会場



エミナ総合法律事務所
社会保険労務士・中小企業診断士
佐々木 洵

帯広
会場



特定社会保険労務士
特定行政書士
嶋谷 耕治

釧路
会場



特定社会保険労務士
池田 一己

北見
会場



社会保険労務士
藤脇 伸一

室蘭
会場



社会保険労務士
奈良岡 敬英